

食品安全委員会の運営について（平成29年7月～9月）

1. 食品安全委員会の開催

7月：第656回～第659回

（1）食品健康影響評価の要請案件

農薬（4品目）	・クロルピリホス ・クロロタロニル ・ビシクロピロン ・フェンピロキシメート
遺伝子組換え食品等（1品目）	・CPR株を利用して生産されたL-シトルリン
特定保健用食品（1品目）	・健やかごま油
肥料・飼料等（1案件）	・普通肥料の公定規格の改正
対象外物質（1品目）	・ビール酵母抽出グルカン

（2）食品健康影響評価の結果通知案件

農薬（5品目）	・ジクロルプロップ <u>ADIを0.036 mg/kg 体重/日、ARfDを0.3 mg/kg 体重と設定。</u> ・デスメディファム <u>ADIを0.032 mg/kg 体重/日、ARfDを0.9 mg/kg 体重と設定。</u> ・フェンブコナゾール <u>ADIを0.03 mg/kg 体重/日、ARfDを0.3 mg/kg 体重と設定。</u> ・シアントラニリプロール <u>ADIを0.0096 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDは設定する がない。</u> ・フルベンジアミド <u>ADIを0.017 mg/kg 体重/日、授乳中の女性に対するARfDを0. 15 mg/kg 体重と設定し、一般の集団に対する急性参照用量A RfDは設定する必要がある。</u>
農薬及び添加物（2品目）	・フルジオキサニル <u>ADIを0.33 mg/kg 体重/日、ARfDを2.5 mg/kg 体重と設定。</u> ・プロピコナゾール <u>ADIを0.019 mg/kg 体重/日、ARfDを0.3 mg/kg 体重と設定。</u>

動物用医薬品（１品目）	・ スペクチノマイシン <u>ADIを0.053 mg/kg 体重/日と設定。</u>
プリオン（１案件）	・ 牛由来ゼラチン及びコラーゲンの肥料利用に関する規制の見直し <u>食品安全基本法第11条第１項第２号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当すると認められる。</u>
遺伝子組換え食品等（５品目）	・ JPAo001株を利用して生産されたりパーゼ <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断。</u> ・ 除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシMZ HG0JG系統（食品） <u>「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断。</u> ・ 除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシMZ HG0JG系統（飼料） <u>「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、改めて「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物について安全上の問題はないと判断。</u> ・ RITE-A5株を利用して生産されたL-アラニン <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」の附則「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方」に基づき、安全性が確認されたと判断。</u> ・ GLU-No. 9株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」の附則「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方」に基づき、安全性が確認されたと判断。</u>
肥料・飼料等（１案件）	・ 普通肥料の公定規格の改正 <u>食品安全基本法第11条第１項第２号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当すると認められると判断。</u>
薬剤耐性菌（１品目）	・ ガミスロマイシンを有効成分とする豚の注射剤（ザクトラン

	メリアル) <u>評価対象動物用医薬品が豚に使用された結果として、ハザードが選択され、豚由来の畜産食品を介してヒトがハザードに暴露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できず、リスクの程度は中等度であると考えられる。</u>
--	--

(3) その他

- ・平成29年度食品安全確保総合調査追加課題を決定
- ・食品安全モニターからの随時報告（平成28年10月～平成29年3月分）について報告
- ・評価技術企画ワーキンググループから、「新しい時代に対応した評価技術の検討～化学物質の毒性評価のための(Q)SAR及びRead acrossの利用～」について報告
- ・「栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針」を決定
- ・「添加物(酵素)に関する食品健康影響評価指針」を決定
- ・「添加物に関する食品健康影響評価指針」の改正（「加工助剤（殺菌料及び抽出溶媒）の食品健康影響評価の考え方」を策定し、附則として追加）を決定

8月：第660回～第663回

(1) 食品健康影響評価の要請案件

動物用医薬品（1品目）	・ ペグボピグラスチムを有効成分とする牛の注射剤（イムレスタ）
プリオン（1案件）	・ 英国から輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓
飼料添加物（1案件）	・ 飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令の改正（バージニアマイシン及び硫酸コリスチン）

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件

農薬（2品目）	・ フルオピコリド <u>ADIを0.079 mg/kg 体重/日、ARfDを1 mg/kg 体重、フルオピコリドの代謝物である2,6-ジクロロベンズアミドのADIを0.047 mg/kg 体重/日、ARfDを0.52 mg/kg 体重と設定。</u> ・ アミスルプロム <u>ADIを0.1 mg/kg 体重/日と設定、ARfDは設定する必要がない。</u>
農薬及び動物用医薬品（2品目）	・ フェニトロチオン <u>ADIを0.0049 mg/kg 体重/日、ARfDを0.036 mg/kg 体重と設定。</u> ・ フルバリネート <u>ADIを0.005 mg/kg 体重/日、ARfDを0.06 mg/kg 体重と設定。</u>
動物用医薬品（2品目）	・ ジシクラニル <u>ADIを0.0071 mg/kg 体重/日と設定。</u> ・ デキサメタゾン <u>ADIを0.01 μg/kg 体重/日と設定。</u>
遺伝子組換え食品等（1品目）	・ ARG-No.4株を利用して生産されたL-アルギニン <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」の附則「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方」に基づき、安全性が確認されたと判断。</u>
薬剤耐性菌（1品目1案件）	・ 飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令の改正（バージニアマイシン及び硫酸コリスチン） <u>飼料添加物としての指定の取消しに伴いその基準及び規格を廃止するものであることから、人の健康に悪影響を及ぼすおそれはなく、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当すると認められる。</u>

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・酒石酸タイロシンを有効成分とする牛、豚及び鶏の飲水添加剤並びに蜜蜂の飼料添加剤（タイラン水溶散）
<u>酒石酸タイロシン製剤を蜜蜂に使用することによって選択された薬剤耐性菌が、蜜蜂由来食品を介してヒトの健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。</u> |
|--|---|

（３）その他

- ・平成28年食中毒発生状況の概要について厚生労働省から報告
- ・食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の優先実施課題（平成29年度）を決定

9月：第664回～第667回

(1) 食品健康影響評価の要請案件

農薬（4品目1案件）	・食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき定められた食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）のプロファム試験法の改正 ・ジチアノン ・フルエンスルホン ・フルキサピロキサド ・メトキシフェノジド
動物用医薬品（2品目）	・オキシテトラサイクリン塩酸塩を有効成分とするふぐ目魚類の飼料添加剤（水産用テラマイシン散他12剤）（再審査） ・オルビフロキサシン
プリオン（1案件）	・めん山羊又は馬に由来する肉骨粉等の養殖水産動物用飼料への利用再開
遺伝子組換え食品等（3品目）	・G00X-1株を利用して生産されたグルコースオキシダーゼ ・コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシMZIR098系統（食品） ・コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシMZIR098系統（飼料）
肥料・飼料等（1案件）	・普通肥料の公定規格の改正

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件等

農薬（1品目1案件）	・食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき定められた食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）のプロファム試験法の改正 <u>食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当することを確認。</u> ・ビシクロピロン <u>ADIを0.00028 mg/kg 体重/日、一般の集団に対するARfDを2 mg/kg 体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.01 mg/kg 体重と設定。</u>
かび毒・自然毒等（1品目）	・フモニシン <u>TDIを2 µg/kg 体重/日と設定することとし、併せてかび毒の汚染は、作物が収穫された年の気候等に影響され、年による変動が大きいことが推測されるため、リスク管理機関においてフモニシンによる汚染状況のモニタリングを行うとともに、その結果を踏まえて規格基準について検討することが望ましいと考える。</u>
遺伝子組換え食品等（1	・PRF株を利用して生産されたホスホリパーゼC

品目)	<u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断。</u>
肥料・飼料等（１案件）	・ 普通肥料の公定規格の改正 <u>食品安全基本法第11条第１項第２号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当すると認められる。</u>

（３）その他

- ・ 江崎内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）による挨拶
- ・ 平成28年度終了食品健康影響評価技術研究課題の事後評価結果を決定
- ・ 平成29年度食品安全確保総合調査追加課題を決定
- ・ 食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の調査結果（第21回：平成28年９月30日時点）について報告
- ・ アレルゲンを含む食品に関するワーキンググループ及び香料ワーキンググループの設置を決定

2. 専門調査会等の運営

専門調査会等名		開催回数	調査審議案件
添加物		2回	・硫酸アルミニウムアンモニウム ・硫酸アルミニウムカリウム
農薬	幹事会	3回	・テフルベンズロン ・ヒドロキシプロピル化リン酸架橋デンプン ・トリフルメゾピリム ・フェニトロチオン ・シアゾファミド ・シアノホス（CYAP） ・ピフルブミド ・メタラキシル及びメフェノキサム
	評価第一部会	3回	・ダイアジノン ・ジメテナミド ・スピノサド ・クロルピクリン
	評価第二部会	3回	・シアゾファミド ・ピフルブミド ・メタラキシル及びメフェノキサム ・フルキサメタミド ・フェンピロキシメート
	評価第三部会	3回	・シアノホス（CYAP） ・クロルメコート ・クロルフルアズロン
動物用医薬品		2回	・シペルメトリン ・テフルベンズロン ・ワクチン添加剤 ・ベタメタゾン
微生物・ウイルス		2回	・豆腐の規格規準の改正
プリオン		1回	・英国から輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓
遺伝子組換え食品等		3回	・絹糸抽出期における高雌穂バイオマスドウモロコシM0 N87403系統（食品・飼料） ・CPR株を利用して生産されたL-シトルリン ・OYC-GM1株を利用して生産された酸性ホスファターゼ ・コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性ドウモロコシMZIR098系統（食品・飼料） ・G00X-1株を利用して生産されたグルコースオキシダーゼ
新開発食品		1回	・健やかごま油
肥料・飼料等		3回	・亜鉛 ・メチオニン ・2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニン亜鉛 ・オルビフロキサシン
六価クロムWG		1回	・専門委員等紹介 ・ワーキンググループの運営の説明

		・座長の選出・座長代理の指名 ・平成29年度食品安全委員会運営計画の説明
薬剤耐性菌WG	1回	・テトラサイクリン系抗生物質に係る薬剤耐性菌
評価技術企画WG	1回	・ベンチマークドーズ（BMD）法に関する現状と課題

3. 意見交換会の開催等

(1) 意見交換会（全9回）

開催日	開催地	意見交換会名	共催団体
7/5	北海道	食品に関するリスクコミュニケーション「食品の安全を守る取組～農場から食卓まで～」	消費者庁 厚生労働省 農林水産省
7/11	神奈川県	食品に関するリスクコミュニケーション「食品の安全を守る取組～農場から食卓まで～」	消費者庁 厚生労働省 農林水産省
7/22	東京都	夏休み2017 宿題・自由研究大作戦！「知ろう！考えよう！親子で学ぶ、食品中の放射性物質」	消費者庁 厚生労働省 農林水産省
7/28	宮城県	夏休み2017 宿題・自由研究大作戦！「知ろう！考えよう！親子で学ぶ、食品中の放射性物質」	消費者庁 厚生労働省 農林水産省
8/7	大阪府	意見交換会～食品安全を守るしくみと食品添加物の安全性について～	大阪府
8/9	岡崎市	正しく知ろう、食品添加物～子どもたちに安全を伝えるために～	岡崎市
8/19	大阪府	「おおさか食育フェスタ2017」～「知ろう！考えよう！親子で学ぶ、食品中の放射性物質」～	消費者庁 厚生労働省 農林水産省
8/21	東京都	平成29年度学校教育関係者を対象とした食品安全に関する研修会～食の安全都民講座～	東京都
8/25	広島市	食品のリスクに関する意見交換会～カンピロバクター食中毒を中心に～	広島市

(2) 講座

開催日	開催地	講座名
7/31	東京都	精講：食品健康影響評価～加熱時に生じるアクリルアミドを題材として～

(3) 講師派遣(全11回、うち委員7回)

開催日	開催地	講演会名	依頼元
7/5	宮城県	公開講演会「せいよう・サマースクール」 *佐藤委員長	仙台青葉学院短期大学
7/9	神奈川県	第44回日本毒性学会学術年会市民公開セミナー *佐藤委員長	第44回日本毒性学会学術年会
7/19	神奈川県	平成29年度消費生活相談員研修 専門・事例講座第2回	独立行政法人国民生活センター
8/3	富山県	食品安全フォーラムinとやま	富山県
8/28	東京都	第57回日本先天異常学会学術集会 *吉田委員	第57回日本先天異常学会学術集会
8/31	埼玉県	リスクコミュニケーター研修会(第1回)	埼玉県
9/1	宮城県	フォーラム2017: 衛生薬学・環境トキシコロジー *佐藤委員長	日本薬学会環境・衛生部会
9/2	宮城県	フォーラム2017: 衛生薬学・環境トキシコロジー *山添委員	日本薬学会環境・衛生部会
9/4	東京都	学習会「食品の安全と健康食品～安全な食品ってなんだろう?～」	一般社団法人全国消費者団体連絡会
9/11	埼玉県	リスクコミュニケーター研修会(第2回) *石井委員	埼玉県
9/16	東京都	第3回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラムにおける特別講演 *山添委員	東京都

(4) 子ども霞が関見学デー

開催日	開催地	プログラム	連携団体
8/3	東京都	「食品と生活の安全について学ぼう!」	消費者庁

(5) 食品安全モニター会議

開催日：平成29年9月28日（東京会場）

内容： 食品安全に関する基礎知識
食品安全モニターの活動について
グループワーク

4. 情報提供

(1) Facebook

委員会の活動や食品を通じて健康に被害を及ぼすおそれのある情報、国民の関心が高い食品安全に関する情報についての補足説明等について、機動的な情報提供

■7月（19 記事・閲覧数約77,600件/月）

投稿日	記事内容
3	メルマガ【読み物版】生活の中の食品安全ージャガイモによる食中毒について知ろう！ーその2 ◆Q&A◆
6	食品に関するリスクコミュニケーション「食品の安全を守る取組～農場から食卓まで～」(札幌会場)を開催しました(7月5日)
7	【お知らせ】食と健康についての無料セミナー開催(7月9日) 身近に潜む原因菌で夏に急増する食中毒！
10	カナダ保健省が「カフェイン」の摂取基準値(推奨)を公表しました
11	福岡県・大分県等の大雨について 吉田委員がファイザー賞を受賞しました
12	食品に関するリスクコミュニケーション「食品の安全を守る取組～農場から食卓まで～」(横浜会場)を開催しました(7月11日) 塩と健康～あなたの塩分摂取量は大丈夫？～
13	「プエラリア・ミリフィカ」を含む健康食品について注意喚起がありました
14	メルマガ【読み物版】生活の中の食品安全ーアウトドアでも食中毒に注意！ーその1
20	ホームページサイト「子供食堂と連携した地域における食育の推進」が立ち上がりました
21	501回目の記事です！ 【お知らせ】システムメンテナンス
24	正しい知識でジャガイモによる食中毒を防ごう 「技術参与」を募集しています
26	新たな時代に対応した評価技術の検討
27	「おおさか食育フェスタ2017」出展のお知らせー大阪会場にブース出展ー
31	メルマガ【読み物版】生活の中の食品安全ーアウトドアでも食中毒に注意！ーその2(Q&A)

■8月（21 記事・閲覧数約74,800件/月）

投稿日	記事内容
1	平成29年度食品健康影響評価事業等功労者食品安全担当大臣表彰を行いました 腸管出血性大腸菌O157による健康被害について
2	専門家のための講座「精講：食品健康影響評価」を開催しました
3	新しい食べ方と食経験 こども霞が関見学デー、楽しんでもう一度だけ聞きましたか？
4	季刊誌『食品安全』第51号を発行しました
9	意見交換会ー食品安全を守るしくみと食品添加物の安全性についてー(大阪府)を開催しました 【お知らせ】「食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の優先実

	施課題（平成30年度）」の策定について
10	【お知らせ】平成29年度食品健康影響評価技術研究課題の追加公募について 意見交換会：正しく知ろう、食品添加物ー子どもたちに安全を伝えるためにー（岡崎市）を開催しました
14	今が旬のモロヘイヤ
21	メルマガ【読み物版】生活の中の食品安全ー加熱してもなぜ食中毒が起こるのでしょうか？ーその1
22	腸管出血性大腸菌O157による健康被害について 子どもたちと一緒に「食と暮らしの安全」を学びました 平成29年度学校教育関係者を対象とした食品安全に関する研修会（「食の安全都民講座」）を開催しました。（8月21日、於：食品安全委員会会議室）
25	食中毒に注意しましょう メルマガ【読み物版】生活の中の食品安全ー加熱してもなぜ食中毒が起こるのでしょうか？ーその2
28	毒キノコによる食中毒に気をつけて 食品のリスクに関する意見交換会ーカンピロバクター食中毒を中心にー（広島市）を開催しました 「技術参与」を募集しています
30	カンピロバクターによる食中毒について

■9月（14 記事・閲覧数約61,100件/月）

投稿日	記事内容
1	大豆イソフラボンについて知っておきたいこと
6	第664回食品安全委員会 江崎大臣ご挨拶
7	平成29年度食品健康影響評価技術研究成果発表会を開催します
14	食中毒の予防対策を徹底しましょう
15	腸管出血性O157による食中毒に注意 素人判断は絶対にダメー毒キノコによる食中毒を防ぎましょうー
19	メルマガ【読み物版】生活の中の食品安全ーアニサキスによる食中毒についてーその1
22	カフェインの安全性に関する勉強会を開催します（事前お知らせ） プエラリア・ミリフィカを含む「健康食品」が原因と考えられる健康被害情報が多数報告されています
25	身近にある有毒植物にご注意をークワズイモによる食中毒ー
26	食中毒を起こすサルモネラ属菌
27	【ご紹介】「豚肉の生産衛生管理ハンドブック」が公表されました
28	平成30年度食品健康影響評価技術研究課題を公募します
29	食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission」Vol. 5, No. 3を公開しました

(2) ブログ

メールマガジン【読み物版】や健康に影響を及ぼすおそれのある危害に関する情報提供

■7月（14 記事・閲覧数約5,400件/月）

配信日	記事内容
3	メルマガ【読み物版】生活の中の食品安全ージャガイモによる食中毒について知ろう！ーその2 ◆Q&A◆
6	食品に関するリスクコミュニケーション「食品の安全を守る取組～農場から食卓まで～」(札幌会場)を開催しました(7月5日)
7	【お知らせ】食と健康についての無料セミナー開催(7月9日) 身近に潜む原因菌で夏に急増する食中毒！
10	カナダ保健省が「カフェイン」の摂取基準値(推奨)を公表しました
12	食品に関するリスクコミュニケーション「食品の安全を守る取組～農場から食卓まで～」(横浜会場)を開催しました(7月11日) 塩と健康～あなたの塩分摂取量は大丈夫？～
13	「プエラリア・ミリフィカ」を含む健康食品について注意喚起がありました
14	メルマガ【読み物版】生活の中の食品安全ーアウトドアでも食中毒に注意！ーその1
20	ホームページサイト「子供食堂と連携した地域における食育の推進」が立ち上がりました
24	正しい知識でジャガイモによる食中毒を防ごう
26	新たな時代に対応した評価技術の検討
27	「おおさか食育フェスタ2017」出展のお知らせー大阪会場にブース出展ー
31	メルマガ【読み物版】生活の中の食品安全ーアウトドアでも食中毒に注意！ーその2(Q&A)

■8月（18 記事・閲覧数約6,300件/月）

配信日	記事内容
1	腸管出血性大腸菌O157による健康被害について
2	専門家のための講座「精講：食品健康影響評価」を開催しました
3	新しい食べ方と食経験
4	季刊誌『食品安全』第51号を発行しました
9	意見交換会ー食品安全を守るしくみと食品添加物の安全性についてー(大阪府)を開催しました 【お知らせ】「食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の優先実施課題(平成30年度)」の策定について
10	【お知らせ】平成29年度食品健康影響評価技術研究課題の追加公募について 意見交換会：正しく知ろう、食品添加物ー子どもたちに安全を伝えるためにー(岡崎市)を開催しました
14	今が旬のモロヘイヤ
21	メルマガ【読み物版】生活の中の食品安全ー加熱してもなぜ食中毒が起こるのでしょうか？ーその1
22	腸管出血性大腸菌O157による健康被害について

	子どもたちと一緒に「食と暮らしの安全」を学びました
	平成29年度学校教育関係者を対象とした食品安全に関する研修会（「食の安全都民講座」）を開催しました。（8月21日、於：食品安全委員会会議室）
25	食中毒に注意しましょう
	メルマガ【読み物版】生活の中の食品安全ー加熱してもなぜ食中毒が起こるのでしょうか？ーその2
28	毒キノコによる食中毒に気をつけて
	食品のリスクに関する意見交換会ーカンピロバクター食中毒を中心にー（広島市）を開催しました
30	カンピロバクターによる食中毒について

■9月（12 記事・閲覧数約4,900件/月）

1	大豆イソフラボンについて知っておきたいこと
7	平成29年度食品健康影響評価技術研究成果発表会を開催します
14	食中毒の予防対策を徹底しましょう
15	腸管出血性O157による食中毒に注意
	素人判断は絶対にダメ～毒キノコによる食中毒を防ぎましょう～
19	メルマガ【読み物版】生活の中の食品安全ーアニサキスによる食中毒についてーその1
22	カフェインの安全性に関する勉強会を開催します（事前お知らせ）
	プエラリア・ミリフィカを含む「健康食品」が原因と考えられる健康被害情報が多数報告されています
25	身近にある有毒植物にご注意を～クワズイモによる食中毒～
26	食中毒を起こすサルモネラ属菌
28	平成30年度食品健康影響評価技術研究課題を公募します
29	食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission」Vol. 5, No. 3を公開しました

(3) メールマガジン【読物版】(約1万人に配信)

実生活に役立つ食品安全に関する情報を分かりやすく解説した情報等の提供

配信月	配信記事	記事内容
7	[生活の中の食品安全] アウトドアでも食中毒に 注意！	アウトドアでの食中毒予防について紹介
8	[生活の中の食品安全] 加熱してもなぜ食中毒が 起こるのでしょうか？	加熱調理と食中毒について紹介
9	[生活の中の食品安全] アニサキスによる食中毒 について	魚介類に寄生する「アニサキス」による食中毒 について紹介